



平成21年5月13日

各位

上場会社名 日本風力開発株式会社
 代表者 代表取締役社長 塚脇 正幸
 (コード番号 2766)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 小田 耕太郎
 (TEL 03-3519-7250)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	3,450	2,150	1,120	8,837.90
今回発表予想(B)	7,198	2,966	2,201	831	6,798.50
増減額(B-A)	△302	△484	51	△289	
増減率(%)	△4.0	△14.0	2.4	△25.8	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	10,522	1,657	1,109	656	6,403.68

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	1,600	1,300	800	6,312.78
今回発表予想(B)	4,848	2,639	2,763	1,500	12,272.76
増減額(B-A)	148	1,039	1,463	700	
増減率(%)	3.1	64.9	112.5	87.5	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,573	1,470	1,613	818	7,984.00

修正の理由

(連結)

風力発電所開発事業においては、サブプライム問題に端を発した金融不況により今まで高止まりしていた風車市場が一気に軟化したので、この機を捉え、割安感の出た風力発電機の販売に努め、代理店販売手数料収入は当初予想を上回りました。一方、行政がCO2削減対策の法整備を進める中で、先高感が出てきた環境付加価値(例えば、グリーン電力証書)の販売を留保したこと、景気低迷に因る電力需要の減衰に伴い電力販売単価が下落したこと、及び実証実験期間中である二又風力発電所の売電制約等の結果、売電量が予想を下回ったことにより、売電事業の売上高は予想を下回りました。こうした要因により、連結業績の売上高は予想を下回る見込みです。

営業利益は、売上高が減少したこと、及び今後開発予定の大型風力発電所の保守管理業務を行う人材の確保を行った結果、人件費が増加したことから、予想を下回る見込みです。

経常利益は、金利環境の変化に伴う適用金利の引下げが実施されたこと及び資金効率の最適化を図り、支払利息が軽減された為、予想を上回る見込みです。

連結子会社の事業環境及び今後の見通しを勘案、保守的に繰延税金資産を取り崩したこと、及び固定資産の減損損失約53百万円を特別損失に計上することから、当期利益は予想を下回る見込みです。

(個別)

当社は、二又風力発電所が発電する電力と環境付加価値の仕入を行い、販売する売電事業を行っておりますが、前記連結業績の修正要因の通り、販売単価と売電量が予想を下回った為、売電事業の売上高が予想を下回りました。一方、利益に大きく寄与する風力発電機の代理店販売手数料収入が当初予想を上回った為、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益において予想を上回る見込みです。

以上